

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年6月15日

計画の名称	犬山市における安心安全な防災まちづくり																																											
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）				交付対象	犬山市																																						
計画の目標	<p>本市は愛知県の最北端に位置し、西部は木曽川の沖積扇状地で濃尾平野の一部となっており、東部は標高200メートル以下の新第三系丘陵で、尾張丘陵の一部をなしている。市内を流れる河川としては、木曽川、郷瀬川、新郷瀬川と言った木曽川水系と、五条川、合瀬川、半ノ木川といった庄内川水系がある。また、入鹿池をはじめとするため池が150箇所あり、農業等の水がめとなっている。</p> <p>平成15年には東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されており、家屋倒壊、火災等の地震被害が想定されているほか、豪雨による浸水被害、堤防損壊、急傾斜地崩壊等も想定されている。そのため、本市では民間木造住宅耐震対策、消防水利の充実、排水路改修、河川改修、急傾斜地崩壊対策等の対策のほか、総合的な防災マップの作成、犬山市安心情報配信メールによる緊急情報配信等の市民の安心安全を図る事業を推進してきたところではあるが、南海トラフの巨大地震による新たな都市被害予測結果や近年の集中豪雨の頻発などを受け、さらなる地震洪水対策の推進が求められている。</p> <p>そのため、本計画により、市民の安心安全を確保する観点から急務となる防災備蓄倉庫の整備、耐震性貯水槽の整備を促進し、被災時の対策強化を図る。</p>																																											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 防災倉庫で備蓄できる食料・飲料水・生活必需品等の量を、4,650人(3日分)から7,500人(3日分)に増加 消火栓・防火水槽の充足率を79%→83%に増加 																																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3">備考</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>当初現況値</td> <td>中間目標値</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>(H24当初)</td> <td>(H26末)</td> <td>(H28末)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">地域防災計画上の避難者想定数に対する必要充足率：人口×0.1×3日×3食</td> <td>62%</td> <td>80%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">消火栓・防火水槽の充足率：設置数/基準数</td> <td>79%</td> <td>81%</td> <td>83%</td> <td></td> </tr> </table>														定量的指標の現況値及び目標値			備考				当初現況値	中間目標値	最終目標値				(H24当初)	(H26末)	(H28末)	地域防災計画上の避難者想定数に対する必要充足率：人口×0.1×3日×3食			62%	80%	100%		消火栓・防火水槽の充足率：設置数/基準数			79%	81%	83%	
			定量的指標の現況値及び目標値			備考																																						
			当初現況値	中間目標値	最終目標値																																							
			(H24当初)	(H26末)	(H28末)																																							
地域防災計画上の避難者想定数に対する必要充足率：人口×0.1×3日×3食			62%	80%	100%																																							
消火栓・防火水槽の充足率：設置数/基準数			79%	81%	83%																																							
全体事業費	合計(A+B+C)	84.7百万円	A	68.5百万円	B	0百万円	C	16.2百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	19.13%																																

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業関係各課による検証会議を開催し、事業効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討する。	平成29年5月
	公表の方法
	市ホームページにおいて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市防災	一般	犬山市	直接	犬山市	-	-	都市防災総合推進事業(防災まちづくり拠点施設整備)	防災備蓄倉庫(避難所等25箇所)	犬山市						47.3	
1-A-2	都市防災	一般	犬山市	直接	犬山市	-	-	都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	防災備蓄倉庫(公園2箇所)	犬山市						4.9	
1-A-3	都市防災	一般	犬山市	直接	犬山市	-	-	都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	耐震性貯水槽整備 3箇所 名犬公園、羽黒中央公園、堀田公会堂	犬山市						16.3	
											合計	68.5					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	施設整備	一般	犬山市	直接	犬山市	—	防災用資機材の整備	投光機、トイレ等	犬山市						16.2	
合計														16.2		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	1-A-1、1-A-2と一体的に整備することにより、被災時の避難施設における防災性向上を図る。															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H24	H25	H26	H27	H28		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	防災備蓄倉庫の整備により各避難所における備蓄が可能となるとともに、防災資機材が充実され、避難所としての機能が向上したほか、被災時の緊急避難への対応力が向上した。また、大規模地震発生時においても使用可能な耐震性貯水槽を整備することにより、消防力の強化を図ることができた。														
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①地域防災計画上の避難者想定数に対する必要充足率：人口×0.1×3日×3食	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標②消火栓・防火水槽の充足率：設置数/基準数	最終目標値	83%	目標値と実績値 に差が出た要因	耐震性貯水槽の整備については予定どおり実施。 単独事業で実施した消火栓の整備については予定を下回ったものの、消防指定水利事務が進捗したため目標値を上回った。
		最終実績値	84.9%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	避難所に防災備蓄倉庫が設置されたことにより、避難対象となる地域住民の防災意識の向上に係る啓発効果が期待される。 耐久性の高い耐震性貯水槽を整備したことにより、破損等の事故防止を図ることができ、地域住民の安全を確保することができた。														
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

防災備蓄倉庫については備蓄品の継続的な購入により適切な備蓄量を確保する。
耐震性貯水槽については消火栓も含めて計画的な整備を実施し、充足率の向上を図る。

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

